



九州半導体人材育成等コンソーシアム  
組成に向けて産官学が集結

最近の外資系  
のIT企業や  
半導体関連企  
業が、日本で  
研究開発拠点  
の開設を  
工場の新設を  
水面下で模索  
する動きが活  
発化してい  
る。例えば、  
九州半導体人材育成等コンソーシアム  
組成に向けて産官学が集結

## インタビュー

シンガポールに本拠を  
置くOSAT、UTAC  
(日本法人)東京都下京  
区中野寺栗田町93、☎0  
75-9683-625  
0)は、2021年度に  
半導体の市場成長を大  
幅に上回る高成長を達成  
した。22年度は市況の減  
速懸念など不透明感があ  
るものの、プラス成長の  
持続を自覚している。同  
社シニア・バイスプレジ  
デント

UTAC  
シニア・バイスプレジデント 日本法人  
責任者兼セールス・マーケティング・事  
業開発担当  
アシフ・チョードリー氏



アシフ・チョードリー氏

## 21年度は70%の増収

若干上回る成長率とな  
り、前年度比70%増の14  
・7億ドルだった。年商  
10億ドルを突破するのは  
初めてだ。オガニック  
(既存顧客)はWLP、  
MEMS、パワーバイ

は、  
アシフ 業界アナリス  
トは22年の市場成長率を  
7~12%と予測してい  
る。ただ、21  
年10~12月期  
の当社主要顧  
客の在庫が増  
加しており、  
需要とウエハ  
価格にギャ  
ップが出てき

## 部材逼迫は22年下期緩和へ

逼迫の状況と対応は。  
アシフ 21年はリード  
フレーム(LTF)やサブ  
ストレートをはじめ、す  
べての部材や装置が長納  
期化した。足元ではLTF  
やエポキシ樹脂の需給は  
やや改善している。装置  
は半導体不足が影響して  
リードタイムが長い状態  
が続いている。自動車市  
場を中心にパワーバイ

をメーカーと連携して常  
にチェックし、やむを得  
ず遅延する場合は早期に  
通知してリスク軽減を図  
るなどの措置を講じた。  
また、生産拠点は新型  
コロナ感染リスクへの対  
応として従業員の在宅勤  
務やワクチン接種を推進  
するなどの感染防止策を  
講じた。一部拠点では操  
業に制約を受けたが、短

保をするために新規ビジ  
ネスを持つ「レジ  
ネスアグリメント」を  
結んでいる。これら契約  
は、キャパを確保するた  
めの方法として認知され  
てきたと考えている。  
設備投資につい  
て。  
アシフ 21年は約4億  
ドルの設備投資を実施  
し、QFNやWLPなど

需要に対応するための積極  
的な能力増強を行った。  
タイ工場に隣接する建物  
を賃借したほか、シンガ  
ポールでウエハバンピ  
ング拠点を取得した。22  
年も能力増強を図るが、  
分野で濃淡があり一部で  
はスロウダウンもあると  
考えている。このため、  
投資規模は21年ほどには  
ならないのではないかと  
いう。中長期的な能力増  
強の方向性は。  
アシフ 2022年の市  
場成長にややピークアウ  
トの心配があり、24~25  
年(つまり景気減速も  
ありうる)として増産には  
慎重な構えだ。一方、長  
期的にみれば26年以降に  
ミリ波や電気自動車(E  
V)、IoTのさらなる  
普及拡大など市場の成長  
は続くと考えている。  
パッケージ開発の  
取り組みを。  
アシフ アレイパッケ  
ージ、MEMSとセンサ  
ー、イメージセンサー、  
WLP、バンピング、パ

メントで、日本法人責任  
者兼セールス・マーケテ  
ィング・事業開発担当の  
アシフ・チョードリー氏  
に話を聞いた。  
——21年度の業績か  
ら。  
アシフ 当社の21年度  
の売上高は年初の予想を

ス、マイコンなど後半  
を中心に非常に好調だっ  
た。また、特定デバイス  
カー向けビジネスは、  
スマートフォン(スマホ)  
やPC、タブレット向け  
のSiPが伸びた。日本  
の既存ビジネスならびに  
新規顧客も順調に伸び、  
前年度比58%増と好調に  
推移した。  
——22年度の見通し

ているのが懸念材料だ。  
北米のインフレに起因す  
る景気減速も注視され  
る。当社は堅調な需要  
が続くと見込む一方、先  
行きには慎重な見通しを  
持っている。既存品なら  
びにSiPの成長を目指す  
し、市場後退するような  
イベントがなければ2桁  
成長を期待している。  
——サプライチェーン

の需要が高止まりして  
いるため、22年いっばい  
は逼迫が続くのではない  
か。22年後半には半導体  
の需給がやや改善し、装  
置の納期も平常化に向か  
うと予想している。  
当社ではこうした状況  
のなかで、顧客やサプラ  
イヤーとの連携を密にし  
た対応の重要性を学ん  
だ。例えば、装置の納期

期での回復を実現した。  
顧客と「テイク  
・オア・ペイ(TOP)契  
約」を締結するなどの措  
置を講じた。  
アシフ TOPは顧客  
の生産が確保したキャパ  
に満たない場合にペナル  
ティーが発生するが、生  
産キャパを確保する手法  
として要望が強い。多く  
の顧客は、21年に続いて  
22年も一部の重要部品で  
TOP契約を継続してい  
る。一部の顧客はTOP  
契約の代わりにキャパ確

品・技術(パッケージアン  
プなど)を含む)。本紙記者  
の推薦および自由応募など  
から候補者を選出し、記者投  
票で選出する。選定は開発  
の斬新性、量産体制の構築  
社会に与えたインパクト、  
将来性などを基準にする。  
自由応募は自薦・他薦を  
問わない。本紙ホームページ  
の応募用紙に必要事項を  
記入のうえ、4月28日(木  
)までに郵送(〒101-0  
032 東京都千代田区若  
本町1-10-5、TMMビル  
3階)またはFax  
03-5835-1549にお  
よびE-mail(saww@  
sangyo-times.jp)で受  
け付け。

者によるプレゼンテーショ  
ン、表彰式などを開催する  
予定。  
半導体・オブ・ザ・イヤ  
ーは、我が国の半導体製品  
・技術を表彰することで、  
業界の技術および市場のさ  
らなる発展に寄与すること  
を目的として1994年に  
創設された。  
昨年開催された第27回の  
グランプリ受賞製品は以下  
のとおり。【半導体デバイ  
ス部門】マイクロナテク  
ロジー 176層NAND  
フラッシュメモリ、【半導  
体製造装置部門】日新イ  
オン(株) 従来比約3倍の  
高生産性SiCパワーバイ  
ス向けイオン注入装置  
「IMPHET-II」、  
【半導体用電子材料部門】  
エア・ウォーター(株) Ga  
Nデバイス高性能化に寄与  
するMgZnO/SiC on Si基  
板

## 半導体・オブ・ザ・イヤ2022 3部門で選考募集

本紙選定

本紙は、最先端のIT機  
器・産業を支える半導体製  
品・技術を表彰し、その功  
績を讃える「第28回 半導  
体・オブ・ザ・イヤ20  
22」を開催する。半導体

品・技術(パッケージアン  
プなど)を含む)。本紙記者  
の推薦および自由応募など  
から候補者を選出し、記者投  
票で選出する。選定は開発  
の斬新性、量産体制の構築  
社会に与えたインパクト、  
将来性などを基準にする。  
自由応募は自薦・他薦を  
問わない。本紙ホームページ  
の応募用紙に必要事項を  
記入のうえ、4月28日(木  
)までに郵送(〒101-0  
032 東京都千代田区若  
本町1-10-5、TMMビル  
3階)またはFax  
03-5835-1549にお  
よびE-mail(saww@  
sangyo-times.jp)で受  
け付け。

### 電子版のご案内

『電子デバイス産業新聞』  
の定期購読者を対象に電子  
版サービスを提供していま  
す。詳細はQRコードから。

## NRS

https://www.nrsgroup.co.jp/  
電子材料物流の日陸

危険品の国際複合一貫輸送  
-20℃~+25℃で温度管理

### 株式会社 日陸

基礎情報を解説する。  
ら、普及促進に  
ルツルが議論で  
年10月28~29日開催  
第26回日本遠隔医療  
術大会ではテーマ  
医療はパンデミック  
ゲームチェンジャ  
か?と、オンシ  
療を取り巻く光学  
の環境、動き方改  
・映像診断技術、  
△医療機器、オン  
療と高齢者医療  
といったトピック  
の講演、シンポジ  
ウム、二日連続  
押しだ。遠隔化や  
といった社会問題  
間近に迫る医師  
革、医療・介護  
の課題を、5G、  
といった通信の  
化、安全確認セ  
イタルセンサー  
バイスの進化、  
でのセキュリティ  
解決してはる。